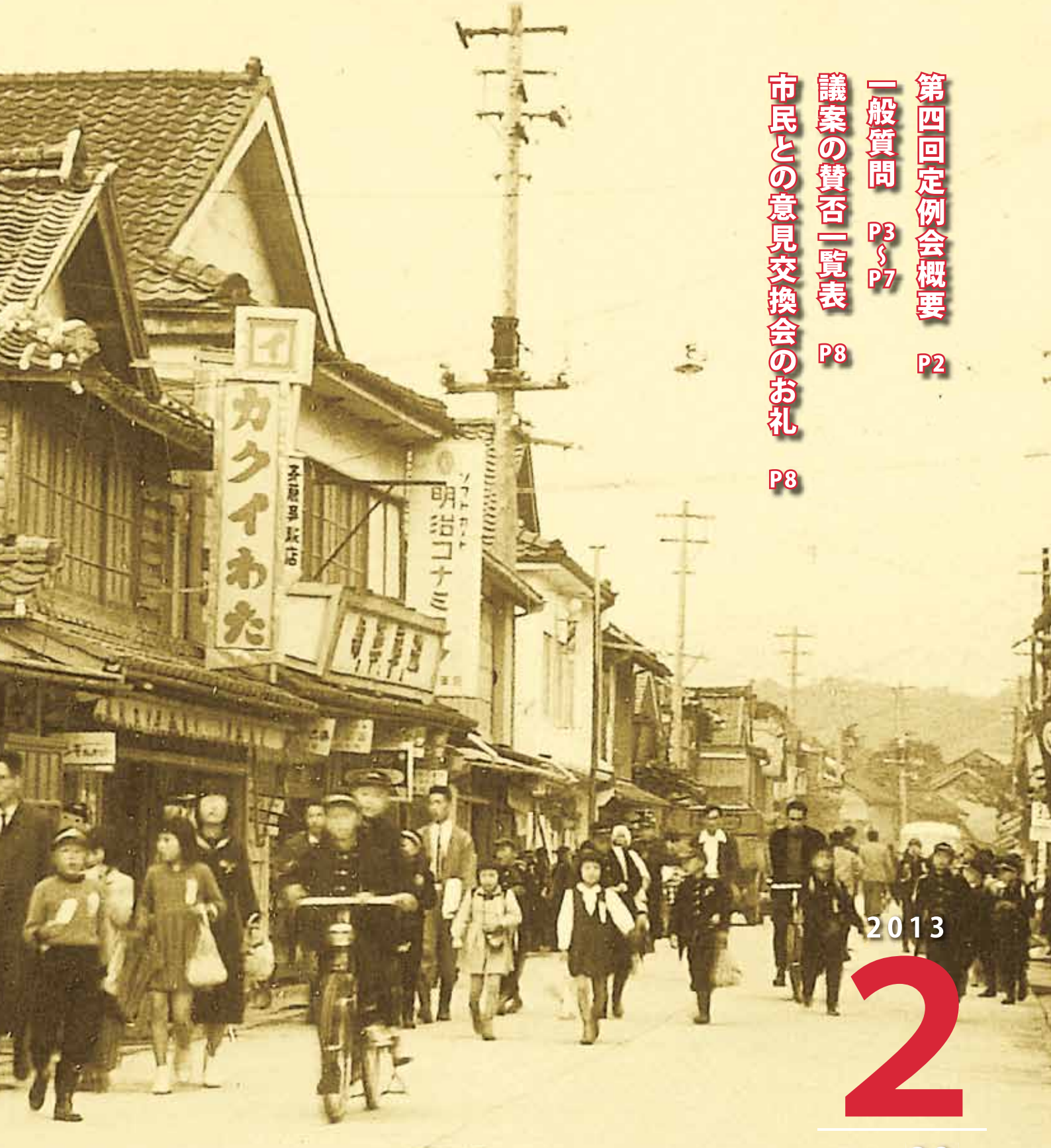




Kitsuki Shigikai  
Dayori

# きつき市議会だより

平成25年2月15日発行



第四回定例会概要 P2  
一般質問 P3～P7  
議案の賛否一覧表 P8  
市民との意見交換会のお礼 P8

2013

2

[写真:昭和31年 中山香駅前若宮商店街]

NO.28

# 議案審議結果

※案件名は一部省略し掲載しています。

番号	案 件 名	採決結果
<b>[議案]</b>		
105	平成24年度杵築市一般会計補正予算（第9号）	可決
106	平成24年度杵築市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決
107	平成24年度杵築市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決
108	平成24年度杵築市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
109	平成24年度杵築市立山香病院事業会計補正予算（第1号）	可決
110	杵築市テレビジョン共同受信施設条例の廃止について	可決
111	杵築市税条例の一部改正について	可決
112	杵築市指定特定非営利活動法人の指定の手續等に関する条例の制定について	可決
113	杵築市行政財産使用料条例の一部改正について	可決
114	杵築市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の制定について	可決
115	杵築市介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定の要件並びに指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の制定について	可決
116	杵築市暴力団排除条例の一部改正について	可決
117	杵築市小学校設置条例の一部改正について	可決
118	杵築市立山香病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	可決
119	財産の取得について	可決
120	土地改良事業の施行について	可決
121	杵築市特別職の職員及び杵築市教育委員会教育長の給与月額の特例措置に関する条例の一部改正について	可決

<b>[報告]</b>		
17	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度杵築市一般会計補正予算（第8号））	承認
18	専決処分の報告について	—
19	専決処分の報告について	—
20	専決処分の報告について	—

<b>[議員提出議案]</b>		
9	MV 2 2 オスプレイの配備撤回を求める意見書	否決

<b>[請願陳情]</b>		
9	活動拠点の整備を求める請願書	継続
10	市道大重見線拡幅に関する請願書	継続
11	杵築市立杵築幼稚園園舎建替えにあたり、「建設の早期実施」と「建設検討委員会の設置」についての請願	採択
12	旧杵築市内の市立幼稚園の「給食事業の早期実施」と事業実施にあたり「給食事業検討委員会の設置」についての請願	継続

## 平成24年 第4回 定例会概要

平成24年第4回定例会（12月議会）が12月3日に開会され、12月17日までの15日間の会期で審議されました。

この12月議会では、18議案（議員提出議案を含む）及び請願陳情4件が審議され、左記のとおり結果となりました。

### 定例会日程

12月3日（月）  
本会議（開会）

12月5日（水）  
本会議（一般質問）

12月6日（木）  
本会議（一般質問）

12月10日（月）  
産業建設常任委員会

12月11日（火）  
厚生文教常任委員会

12月12日（水）  
総務常任委員会

12月17日（月）  
本会議（閉会）



# 一般質問

## Q & A



平成24年第4回市議会定例会では、12月5日から6日までの2日間にわたり、市政に関する一般質問が行われ、9人の議員が諸問題について質問しました。

(一般質問した議員が原稿を作成し、基本的にその原稿を尊重して編集しています。)

### ■婚活支援について



渡辺雄爾議員  
が質問に立ち  
ました

#### 問

杵築市の近隣の市である国東市や豊後高田市においては人口減少の状況にあるなか、日出町は18市町村の中でもわずかに人口増の町である。その要因として定住人口の増加を目的に町をあげて独身者の結婚活動を応援し、婚活に取り組みやすい環境づくりに努めながら、活動を広めていると聞いている。杵築市も合併当初3万3千の人口から平成28年には3万人を割り込み、2万9千人へと人口が著しく減少すると予想されている。市をあげての縁結び事業に取り組むことはできないか。

#### 答

人口減少については大変強い危機感を持っており、定住促進策については現在策定中の「人生まるとご応援プラン」に基づき、着実に実施していきたいと考えている。婚活については、他市町村の状況等を調査研究し、支援策をまとめてみたい。

### ■介護施設や老人ホーム等での廃棄物処理について

#### 問

市は廃棄物処理に対し、どのよう  
な監理を行っているのか。菌  
や血液が付着した感染性廃棄物を除  
き、使用済み紙おむつなどは、一般廃

#### 答

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の第6条の2では事業者は一般廃棄物の運搬を他人に委託する場合には当該市町村の一般廃棄物収集運搬許可業者に委託をしなければならぬとなっている。市としての監理は、各家庭に配布している資源とごみの分け方出し方の冊子、事業活動に伴って出されるごみは、杵築市の許可を受けた収集運搬業者に依頼するか、処理施設に自己搬入するように啓発している。

#### 問

市の場合、介護施設や老人ホーム事業所について無許可業者による処理があった場合に、どういう処分の規定があるのか。

#### 答

市の無許可業者による一般廃棄物等の運搬等を廃棄物の処理及び清掃に関する法律の違反の疑いがあるときとみられるようなことがあれば、立入調査を行い、必要な措置を講ずるように許可取消などの指導等を行っていく。



岩尾 育郎議員  
が質問に立ちました

### 旧山香健康管理センターについて

**問** 旧山香健康管理センターについては、1階に調理室、2階にトレーニング室があり、山香の方を中心に各種料理教室や体力増進等に利用されていたが、昨年3月突然に設置条例の廃止議案が提出された。女性団体を中心に調理室の存続を求める声が上がリ、市は急遽、山香庁舎の2階に約2600万円以上をかけ調理室を作ったが、現在旧山香健康管理センターはどのような状況になっているのか。

**答** 現在、1階部分に薬剤科と福祉ステーションを移転し、2階部分は病院の備品庫として使用している。

**問** 当初から2階部分については倉庫として利用する予定だったのか。福祉ステーションが入るなどという話は全く聞いていないし、倉庫として使用するという話もなかった。

**答** 当初は薬剤科と売店及び飲食可能な待合室を設置する計画だったが、日本医療機能評価機構の指摘を受け計画変更をした。2階部分について、倉庫として使用していることは今回の質問で確認した。

**問** 現在1階を薬剤科、2階を倉庫として使用しているということだが、薬剤科が2階で何か不都合なことがあるのか。

**答** 十分可能だと思うが、病院としては福祉ステーションを併設したこともあり1階がベストだと考

**問** 1階の調理室をそのまま残し、2階部分に薬剤科を設置すれば、あわてて山香庁舎に調理室をつくる必要は無かったし、病院も調理室の撤去費用等余分な経費をかけることもなかった。その時期が来たときに一番良い方法をじっくり考える時間的な余裕もできたのではないか。今回のことについては非常にちぐはぐな対応だと考えるが。

**答** それは結果論であり、こうした方が良かったのではないのかというのとはあなたの理屈だ。病院が一番使いやすいようにと管理者に任せただけだから今後の計画でどのようにしていくかということだと考える。

**問** 今回、病院のことを質問すると通告していないのに事業管理者は出席していない。今年の予算特別委員会、決算特別委員会も欠席しているが、開設者としてこのことをどう考えるのか。

**答** 管理者が病院の管理を任せられているので、手術やいろんな形の中で本人が出ないと言ったのかどうか知らない。

## KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



阿部 直瑞議員  
が質問に立ちました

### 国民健康保険について

**問** 平成元年に「国保が人を殺すとき」という衝撃的な本が出版されてから24年が過ぎた。国保税の所得に占める割合が年々上昇している。厚生労働省の実態調査で、2010年度の国民健康保険加入世帯の所得に占める保険税の割合が平均9.9%と過去最高。大分県では所得に対する割合は12.3%。国保税滞納のため全国で18万7千世帯(2010年度)が差し押さえを受け、保険証を取り上げられた世帯は155万1千世帯。経済的理由による受診遅れによって死亡者が67人(2011年の一年間、全日本民主医療機関連合会調査)。「国民健康保険税は高すぎて大変で必死で収めているのです」というのが国保加入者の多くの方々の共通した声だ。国保税を納める側からの視点として、今の8回の納税回数を12回にしてほしいとの声にこたえる必要がある。

**答** 個人所得が確定するまでに4月から約3カ月を要することから納期の初めを7月からとしている。県内14市の納税状況は8期が5市、9期が1市、10期が7市、12期が1市。今回の意見を国保運営協議会の中で報告し、意見を求めてみたい。

### 市民の健康づくりについて

**問** 誰もが健康で長生きをしたいと願っている。病気になって入院などすると健康のありがたさを感じた経験を持っている人は多い。健康で過ごすことができることは本人にとってもいいことであり、国保などの療養費を減らすことにもいい影響をもたらす。住民健診や健康教室など様々な事業に取り組んでいるが、早期発見、早期治療のための住民健診(地域巡回検診)や人間ドックの利用状況について、また健康づくりに住民の参加状況はどうなっているのか。

**答** 平成23年度、地域巡回検診1,857人、市立山香病院1,704人で計4,746人が受診している。健康づくりは172名の健康推進委員を中心に取り組んでいる。出前講座には44回の申し込みがあった。

**問** 本格的に健康づくりのため、保健師、栄養士などをふやしては、要望は続いている。





藤本 治郎議員  
が質問に立ち  
ました

### ■市立幼稚園について

**問** 杵築幼稚園園舎建替えの今後の計画は。

**答** 今年度中に基本設計（イメージ図）を作成し、25年度に実施設計と建設に取り掛かり、26年度の夏休みに完成を目標とする。

**問** 早急に園舎建設検討委員会を設立する考えはあるか。

**答** 関係者等の要望を反映した設計を考えているが、要望があれば対応する。

※今定例会にて、園舎建設検討委員会設立の請願を採択

**問** 旧杵築市内幼稚園の給食事業実施はできないのか。

**答** 給食センターの老朽化と多様化した食生活に対応する為、施設の整備後に実施したい。総合計画で、建設は28年度となっているが、1年でも早くできるように努力する。

### ■杵築小学校クラス編制について

**問** 新3年・4年・5年生で1、2名の生徒数の差で、クラスが減少の編制をどう考えているか。

**答** 県教委の指導で2年生までは30人学級、3年生からは国の指導で40人学級となっている。きめ細かい指導のためチームティーチング等により信頼関係を築きたい。また、市独自の教職員の加配等で対応できないかを、県教委と協議し努力する。

### ■健康推進館温水プールについて

**問** 杵築中学校水泳部における利用

状況と料金の減免について。

**答** 杵築中学校水泳部ではなく、杵築育英会で申込みをいただき、小中学生15名の内5名が市外の児童である。特定の団体に継続的占有使用は難しいが、一般利用者の不便を最小にとどめる配慮を具体的にできればと思う。利用料金については、条例の関係で今の形では難しいが、調整検討していきたい。

### ■城下町商店街の活性化について

**問** 地域の活性化をどのように進めていくのか。

**答** 商工会との連携によりお買い物券による景気刺激策と、観光協会を中心に、誘致に向けたPR活動の推進。また、谷町の商店後継者護町会を中心に、住友生命ビル跡広場でのイベント支援と、若手の活動を全面的にバックアップしていく。

**問** 借用したスカヤ跡地をどう活用するのか。

**答** 杵築庁舎の分室として継続的に利用する。店舗の1階は、観光や商店街の振興に役立つ活用を、2階は大会議室等に、駐車場部分も商店街利用者が使えるようにしたい。

**問** コミュニティーバスと乗合いタクシーについて

**問** 利用の状況は。

**答** 23年度の市内循環コース1日8便、1乗車当たりの平均13.27人で、委託料は2,250万円、利用者収入400万円、県補助540万円、市負担額は1,310万円である。乗合いタクシーは11月末で1,338人である。

**問** 平尾台への循環バス乗入れはできないのか。

**答** 別府土木事務所等・関係機関と検討してみるが、山香・大田を結ぶ路線の為、実際難しい状況である。

健康推進館温水プールについて

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



中山田 昭徳議員  
が質問に立ち  
ました

### ■健康推進館温水プールについて

**問** 開館して3カ月以上になるが、案内・表示板が無い。早急に設置すべきではないか。

**答** 早い時期に設置したい。

**問** 障がい者やリハビリ対象者への利用料の減免の考えはないか。

**答** 障がい者の利用料の減免措置については配慮が必要と考えている。これから検討していきたい。リハビリ対象者については治癒の状況等事実確認が難しく、現時点では考えていない。

**問** コミュニティーバスの運行は。

**答** コミュニティーバスの運行は。現在では考えていない。要望が多ければ、担当課と協議し検討したい。

### ■杵築中学校建てかえについて

**問** 経過と進捗状況、今後の見通しは。

**答** 先月、基本設計案ができあがり杵築中学校建設検討委員会と協議した。建設場所は旧校舎跡地に多くかかるように設計されている。校舎棟は南棟と北棟の3階建て、体育館は1階が武道場、2階・3階が体育館、屋上にプールを設置する計画である。

現在、建設検討委員会で見直しをとりま

とめて今年度中に基本設計を作成し、来年度には実施設計を作成する。今後の見直しは、校舎、体育館の建設を平成27年度から始め、平成28年度中の完成を目標としている。その後グラウンドの整備等を行い、すべての事業完了は平成29年度を予定している。

### ■文化財調査の現状は。

**問** 文化財調査の現状は。

**答** 専門家で構成した発掘調査指導委員会が校舎跡地の調査を行っている。調査は約1年間を予定している。その後は体育館、図書館の解体後に調査をする。発掘調査は委員会の専門家の指導を受けながら中学校建設のスケジュールと十分調整を図り進めていきたい。

**問** コミュニティーバスの停留所について

**問** 杵築駅の近くに停留所を設置することはできないか。

**答** 杵築駅は路線バスの運行区間であり、コミュニティバスの停留所を設置することは、バス、タクシー事業者の民業圧迫になるので困難である。事業者の了解を得ることは難しいが、行政・陸運局・事業者で構成する公共交通会議の中で、要望を訴えていきたい。



西原 繁朝議員  
が質問に立ちました

### 津波対策について

**問** 県は「南海トラフ地震」「周防灘地震」「別府湾地震」について最大津波高等を公表しているが、想定されている津波が押し寄せた場合には、浸水面積、浸水住宅戸数、居住人口はどのくらいになるのか。

**答** 浸水域データを地理情報システム(GIS)に移す作業が完了しないと詳細な数値が把握できない。今年度中には作業を完了する予定なので、出来次第ハザードマップを作成し全戸配布をする。

**問** 万一、別府湾地震が発生した場合、杵築市沿岸部に極めて短時間で4メートル前後の津波が到達すると想定されているが、市民の生命財産を守るためにどのような取り組みが考えられるか。

**答** 「別府湾地震」の発生確率は極めて低いので、県段階では中期的な課題として、国の調査研究等の動向を踏まえて検討するとしている。市としても県の指示を待ちたい。

**問** 津波の浸水が想定される幼稚園、小中学校の児童生徒、教職員に対して救命胴衣やヘルメットを常備しておく必要があるのではないか。また、浸水が想定される住民に対して、救命胴衣を常備させる必要が有るのではないか。住民に対しては杵築市が助成することも検討すべき

である。

**答** 地理情報システムへの移行作業が完了した後に教育委員会も含めて検討したい。

**問** 津波に備えて、早急に防災訓練を実施する必要があるのではないのか。

**答** 海抜8メートル未満に住居が有るのは45行政区である。避難訓練を実施することで新たな課題が見つかることもあるので、未実施の行政区に対して実施の働き掛けを行う。

### ふるさと納税(ふるさと) 県民援寄付金(に)について

**問** ふるさと納税の多くが県外在住の方であるが、寄付していただいた方へ礼状に加えて特産品などを送ることはできないか。

**答** 提案いただいたので、今後見直ししていきたい。

**問** 市職員で様々な事情で、市外から通勤している職員は何名いるのか。その内、ふるさと納税に理解して寄付をしている職員は何名か。

**答** 病院部門を除くと、市外からの通勤者は44名である。この内、寄付をした職員は3カ年度で延べ3名である。

**問** 寄付したほぼ全額が税額免除されることから、市外からの通勤者に対して「ふるさと納税」をすることの呼びかけはできないか。

**答** 個人情報との兼ね合いもあるが、関係する職員に協力を呼び掛けていきたい。

KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI-KITSUKI-GIKAI-DAYORI



加来 喬議員  
が質問に立ちました

### 教育行政の姿勢について

**問** いじめっ子には、いじめに走るだけの悩みやストレスがある。専門家の調査では、「いじめてスカツとした」「自分のみじめな状況を救うために誰かを否定したくて仕方がなかった」と、その背景には未熟な精神状態と強いストレスがあることが明らかにしている。いじめを止め、自ら立ち直り成長するまで、その子の苦しい状況に共感しながら寄り添い支える事が必要である。また、多くの子どもたちは、いじめをなくして楽しいクラスをつくりたいと悩んでいるはずである。子どもたちの力を信頼し、クラス全体でいじめを解決する。いじめを成長の機会ととらえ、お互いに悩みを理解し、本音を語り合い、人間関係を育むことが求められているのでは。

**答** いじめ対策で大事な事は、早期発見、組織的な対応、関係機関との連携等である。ささいな行為が深刻ないじめへと広がらない、認め合い支え合う学級風土をつくり出し、一人一人の子どもの居場所を作っていくという発想に立った取り組みや環境づくりが大切である。

**問** 学力テストの結果だけで、子

どもたちの成長過程を一面的に捉えているのでは。

**答** 児童・生徒一人一人を評価する観点については、学力テストだけでは一面的過ぎる。授業を進めていく上で学力は大事であるが、知識や基礎基本的な内容だけではなく、その子どもたちの学級での位置、その学級の人間関係も含めて学級づくりや風土づくりを大事にしながらか進めていくところであり、人間はどこでの時期に成長するかというのはそれぞれ個性がある。

**問** 数字に表れているように、伸び伸びと育つ子どもたちがストレスを抱え、強い孤独感に包まれている。社会人になって振り返った時に、「学校が楽しかった」「いろんな問題をみんなで解決した」「運動会、文化祭、みんなで取り組んだ」「誰かが困ったときに助けてくれた」という体験が求められている。いじめは無くさなくてはならないけれど、いじめを成長するよい機会だととらえ、当事者だけでなくクラス全員が成長できるように力を発揮していただきたいと思う。すべての子どもたちの能力を豊かに伸ばし、子どもたちが明日に希望をつなぐことができる教育の探求と、そのための環境整備に力を尽くしていただきたい。



西紀子議員  
が質問に立ち  
ました

### ■マスコットキャラクターで まちおこしを

**問** マスコットキャラクターでのまちおこしが各地域で行われている。杵築市も「ゆるキャラ」をつくり、イベントや観光キャンペーンで知名度をあげていく考えはないか。

**答** 本市のマスコットキャラクターとして大田地区の「ひげろく仙人」というキャラクターがあり、ストラップやキーホルダーなどのグッズも最近できているが、知名度は低い。新しいキャラクターの企画はあったが、まだ決定はしていない。今後、市の観光宣伝に有効な手段と捉え、広報担当部局や商工会、各種団体等の連携を図り、観光面だけではなく杵築市をPRする手段の一つとして取り組んでいきたい。

### ■自殺予防教育の取り組み について

**問** 2012年の自殺対策白書によると14年間連続3万人を超える状態が続いている。「児童・生徒の自殺を未然に防止し、予防に資する教育を実施することが重要」との自殺総合対策大綱が出されている。市の対応は。また、今後小中学校での独自の指導手引書をつくる必要性があるのではないか。

**答** 各小中学校では道徳教育や総合的な学習の時間の中で命の教育や死についての教育の実践に子どもの発達段階に応じて取り組んでいる。子どもの悩みや困りを受け止める教育相談体制づくりを日ごろから築いておくように指導を徹底している。文部科学省の手引書等を活用しての教職員研修を進めていくことが肝要であると考えている。

### ■認知症対策について

**問** 高齢化が進む中、認知症の増加は避けて通れない喫緊の課題である。認知症は誰もがかかる病気で、予防は早期発見・早期治療で進行を防げる。認知症の対応と支援は。また包括支援センターの役割やタッチパネルの設置を。

**答** 介護支援専門員が認知症の高齢者についての状況把握を行い、専門医療機関での確定診断かかりつけ医等の情報提供を受け、介護支援専門員が計画を作成し支援をする。また、包括支援センターを中心に地域ケア会議を開催し、具体的な支援が行われるよう体制整備に努める。タッチパネルについては関係機関と一緒に検討したい。

### ■防災士の養成について

**問** 今後も継続していくのか。また、女性の受講者の育成を。引き続き防災士の養成を継続したい。女性の育成にも力を入れていきたい。

**答** 引き続き防災士の養成を継続したい。女性の育成にも力を入れていきたい。



河野正治議員  
が質問に立ち  
ました

### ■公立幼稚園について

**問** 公立幼稚園の園別園児数及び教員数は。

**答** 杵築地域は7園で169名、山香地域は1園で37名、大田地域は1園で4名、教員数は合計26名である。

**問** 小規模幼稚園に対する今後の方向性についてどのように考えているのか。

**答** 山香幼稚園は平成25年4月より認定こども園として開園し、大田地域では平成26年の小学校の統合とあわせて保育園と幼稚園を統合し市立こども園として開園の予定、杵築地域では統廃合の計画は現在のところない。

**問** 杵築地域では7園のうち3園は園児数20名以下、2園は10名以下の小規模幼稚園である。この状態で小学校区ごとに幼稚園を存続していくのかを検討する考えはないのか。

**答** 既に幼稚園の適正配置については適正配置検討委員会の答申をいただいている。現在の状況でいづれでもいくということではなく推移をみながら考えていく。全くこの状況を継続するということはない。  
**問** 市立山香幼稚園を民間経営の

認定こども園に移行した後の教育委員会の役割はどうなるのか。

**答** 保護者の経費負担増にならないよう今の保育料と同額になるよう考えている。また、教育課程については市教委の指導主事を適時派遣し、就学前の一貫教育の充実をはかりたい。

### ■上保育園の存続について

**問** 園児数の減少により独自の経営が困難になり存続にかかる協議がされている上保育園について園児数の現状と将来見込み及び経営状況は。

**答** 園児数は定員20名のところ10名の現員である。平成25年は7名の入園予定と伺っている。経営状況については平成24年度は赤字を積立金で補てんをし、平成25年度は補てんの見通しが立たない状況にある。

**問** 存続に向けての行政指導は。また、財政支援はできないか。

**答** 一人法人に対する財政支援助成となると非常に難しい。平成25年4月から新しい認定こども園で上地域の園児保育を行うこととなっている。運営は民生福祉会が行い、将来に向けた考え方もこの建設の中に加味されている。こうしたことから建設用地は市有地を無償提供し、幼稚園対象児については他の幼稚園の保育料と均衡を保つため5千円とし、差額の経費については行政で負担をする。



# 市民との意見交換会へご参加いただき 誠にありがとうございました

杵築市議会では、平成24年11月27日から29日の3日間にわたり、市内9会場で、市民に開かれた議会として、市議会の仕組みについてご説明申し上げ市政や議会に対するご意見をいただくため、市民との意見交換会を開催しました。

延べ240名もの多くの市民の皆様にご参加いただき、様々なご意見、ご質問等をいただきまして誠にありがとうございました。

市民の皆様からいただきました貴重なご意見やご質問等については、取りまとめを行い、現在議会内で検討中であります。検討した内容については改めてご報告をさせていただきます。

今後も市民の皆様のご意見を伺う場を設けてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 議案の賛否一覧表

※議案等に対して、「賛成」か「反対」の意見が分かれたものを掲載しています。

議案番号	議案等名	結果	表決数 賛成：反対	議員名（議席番号順）																			
				1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	17	18	19	20		
				加来 喬	藤本 治郎	西原 繁朝	岩尾 育郎	阿部 長夫	井門 仙一	渡辺 雄爾	中山 昭徳	西 紀子	堀 寿満	阿部 直瑞	河野 正治	小春 稔	富来 征一	真砂 矩男	有田 昭二	阿部 幸市	河野 有二郎		
議員提出 議案第9号	MV 22 オスプレイの 配備撤回を求める意見書	否決	5対11	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	×	欠	○	×	×			

○ [賛成] × [反対] 欠 [欠席] — [退席] 議長は除く

## 3月定例会日程予定

※正式な日程は議会運営委員会で決定します。

2月27日	平成25年第1回定例会開会	3月8日	予算特別委員会
3月4日	一般質問	3月12日	産業建設常任委員会
3月5日	一般質問・議案質疑	3月13日	厚生文教常任委員会
3月6日	一般質問予備日	3月14日	総務常任委員会
3月7日	予算特別委員会	3月19日	平成25年第1回定例会閉会

## 編集後記

「鬼は外、福は内」と豆をまく子供たち、この一年の安全安心を心から願う姿、見なれた美しい風物詩を感じることに「まず感謝！」

昨年は5月に173年ぶりの金環日食、7月のロンドンオリンピックでは38個のメダル獲得、8月には杵築高校の甲子園初出場、11月の米国大統領選、12月の衆議院選挙での政権交代！「危機突破内閣の誕生」「アベノミクス」に期待をしながらも、竜頭蛇尾に終わらぬよう願うばかりです。

議会に目を向けると、昨年11月末に初めて開催した「市民との意見交換会」では、切実な思いを多く耳にしました。この思いをいかに具現化・発展させていくかが、私達の責任だと感じました。

来月には東北大地震発生2年が経過、昨年7月の九州北部豪雨災害と、公助が今ひとつと報じられる中、完全復活まで全国からの「共助の意識」を今一度高めなければならぬ時期だと考えます。始めるエネルギーを考えるよりも、一歩踏み出す勇氣と行動力、「感謝と継続の精神」で果敢に挑戦したいものです。

終りに「もうすぐ春ですねえ！」とキャンディーズの歌のように、新しい息吹を感じる季節、心も体もエネルギー満タんですか。まだまだ厳しい季節が続きますので、お体にご自愛のほどお祈りいたします。

議会報編集委員長

藤本 治郎